

実践

品質管理講座
中級編

モノを検査する品質管理はもう過去のこと。設計及び工程というシステムで品質を作り込む方法を経て、現在はデジタル技術を活用し、モノ、システム、そして設備をリアルタイムで監視、分析し品質保証をする時代です。そのためには統計的品質管理を理解・活用しなければなりません。本講座では「正規分布」「分散の加法性」の習得及び最新のデジタル技術情報を得ることにより、最新の品質保証システムを構築する考え方を学びます。

定員
20名

締切 11/28(火)

日時

12/1(金)・8(金) 全2回 10:00~17:00

場所

浜松地域イノベーション推進機構「セミナー室」
(浜松市中区東伊場2-7-1 浜松商工会議所会館8階)

対象

中小製造業の現場リーダー、幹部候補者、
品質管理担当者 など

参加費

5,000円(税込)
※静岡県西部地域以外の方は10,000円(税込)

カリキュラム

- 1日目：ものづくりの要素と資格
統計的品質管理基礎（正規分布）
統計的品質管理基礎（管理図）
統計的品質管理実践（分散の加法性）
- 2日目：統計的品質管理実践（公差解析）
製造業のDX
AIをどう生かすか

講師：関ものづくり研究所
代表 関 伸一 氏

主催

公益財団法人
浜松地域イノベーション推進機構
Hamamatsu Agency for Innovation

共催

静岡県 浜松市 磐田市 掛川市 袋井市
湖西市 御前崎市 菊川市 森町

講師紹介



関ものづくり研究所 代表／株式会社Fiot 取締役 関 伸一 氏


専門である機械工学及び統計学を基盤として、品質向上を切り口に現場の改善を中心とした業務に携わる。ローランドDG社で改善業務の集大成として考案した「デジタル屋台生産システム」はあまりにも有名。現在、モットーである「明るく楽しい現場からしか良い製品・サービスは生まれない」を実現する現場作りのために、本来のコンサルティングのほか、志を同じくする経営者と共に(株)Fiotを設立し、Made in Japanのお手軽IoTデバイスの開発・製造・販売も手掛ける。

【著作】日経BP社「日経ものづくり」誌「ものづくり塾製造コース」連載など。日刊工業新聞社「工場管理」にコラム「モノづくりの本質 ～品質の根底にあるもの～」連載中。

「実践品質管理講座 中級編」申込方法

11月28日(火)までに、ホームページの申込みフォーム、または下記申込書にてE-mailでお申込みください。

 https://hai.or.jp/event/1201-08_hinshitsukanri/


 gijyutsu@hai.or.jp




←スマートフォンからのお申込みはこちら

◎お申込み後に登録完了メールが送信されます。登録完了メールが届かない場合はご連絡ください。

お問合せ

 053-489-8111

 gijyutsu@hai.or.jp (公財)浜松地域イノベーション推進機構 技術支援G 菊本/森

実践品質管理講座 中級編」申込書

会社	会社名			
	所在地	〒 <small>県西部地域に本社、製造拠点等の主たる事業所がある。ある□/なし□ ※必ずチェックしてください。</small>		
	TEL		FAX	
参加者	①	氏名	所属・役職	
		E-mail		
	②	氏名	所属・役職	
		E-mail		

個人情報保護に関する注意事項

ご記入いただいた個人情報は、主催者及び共催者の事業等に関する情報や参加者募集の案内等の範囲内で利用又は提供いたします。第三者に提供することはありません。